

令和6年度野菜・果実の消費拡大支援委託事業

規制のサンドボックス制度（新技術等実証制度）の成果物

「直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の一般的な  
機能性・特徴表示に関する POP 表示マニュアル」  
の普及活動

## 取組内容報告書

令和7年2月

一般社団法人 食品機能推進協会

—目次—

第1	事業概要 .....	1
第2	研修等の実施状況.....	2
第3	研修受講企業別のPOP表示の取組内容 .....	4
第4	消費者向けアンケート実施結果 .....	10
第5	事業実施評価のまとめ .....	17
	(添付資料) アンケート票 (様式) .....	18

# 第1 事業概要

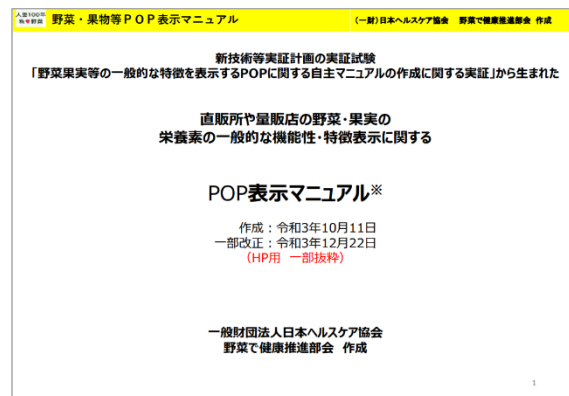
## 1 事業名

令和6年度野菜・果実の消費拡大支援委託事業

## 2 事業目的

野菜・果物の1人1日当たりの平均摂取量（令和5年・20歳以上）は野菜256.0g、果物92.9gで、「健康日本21（第三次）」（厚生労働省策定）等で目標とする野菜350g、果物200gにいずれも達しておらず、1人当たりの野菜・果物の摂取量の増加が課題となっている。

本事業は、規制のサンドボックス制度（新技術等実証制度）の成果物「直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の一般的な機能性・特徴表示に関するPOP表示マニュアル」（以下「POP表示マニュアル」という。）の普及に向け、全国の主要な都市において、POP表示を行う小売店に対する表示規則やアピール手法等に関する研修を実施し、もって店舗での適切なPOP表示と消費者の理解促進を図ることを目的に行った。



（直販所や量販店の野菜・果実の栄養素の  
一般的な機能性・特徴表示に関する  
POP表示マニュアル）

## 3 事業期間

令和6年6月13日から令和7年2月28日まで

## 4 業務内容

全国の主要な都市等において、POP表示マニュアルを用いて小売店に対する研修を実施した。また、受講者の実店舗におけるPOP表示の取組をサポートするとともに、POP表示に取り組んだ店舗数と取組内容等を把握した。さらに、POP表示をした実店舗において、POP表示の効果等を把握するため、消費者向けに野菜・果物の購入に対する意識の変化等に関するアンケートを実施した。

## 第2 研修等の実施状況

### 1 全体概要

	実績
都市(地区)数	8都市・1地区(※)
研修参加企業数	9社
研修実施数	16回
研修参加人数	95人
サポート活動	6回

(※) 札幌市、福島市、小金井市、半田市、神戸市、淡路市、高松市、浜田市、三潁郡大木町

### 2 参加企業別の実施状況

参加企業	研修等の実施	参加人数
北雄ラッキー (北海道札幌市) 対象：22店舗	6/14 幹部向け研修 10/23 店舗向け研修(合同で22店舗) 10/22 サポート活動(保健所説明)	4人 32人
JA福島中央会 (福島県福島市)	10/31 幹部向け研修	3人
東京むさし農業 協同組合 (東京都小金井市 等) 対象：4店舗	9/10 幹部向け研修 9/13 店舗向け研修(A店舗) 9/19 店舗向け研修(B店舗) 10/18 店舗向け研修(C店舗) 10/25 店舗向け研修(D店舗) 1/14 サポート活動(保健所説明(B,D店舗分)) 1/15 サポート活動(保健所説明(A店舗分)) 1/16 サポート活動(保健所説明(C店舗分)) 1/31 消費者向けアンケート(取組効果等把握 (A店舗)) 2/5 消費者向けアンケート(取組効果等把握 (B店舗))	11人 4人 2人 2人 2人
イシハラフード (愛知県半田市)	11/26 幹部向け研修	3人
コープこうべ (兵庫県神戸市) 対象：1店舗	7/26 店舗向け研修 8/20 サポート活動(保健所説明)	2人
パソナ農援隊 (兵庫県淡路市) 対象：1店舗	9/5 幹部向け研修 10/2 店舗向け研修	4人 2人

一般財団法人三宅医学研究所 (香川県高松市) 対象：1店舗	11/14 幹部向け研修 12/25 店舗向け研修	4人 4人
キヌヤ (島根県浜田市)	9/24 幹部向け研修	3人
アスタラビスタ (福岡県三潴郡大木町) 対象：1店舗	9/19 店舗向け研修 10/4 サポート活動(保健所説明)	13人

POP表示マニュアルの概要紹介のみ実施した企業数(いずれも研修には至らず)

- ・愛知県 1社
- ・宮城県 1社
- ・石川県 1社

#### ※研修の実施について

今年度は、「POP表示マニュアル」を全国に普及させることを目的として、仕様書で「全国の主要都市6都市以上において、各都市複数社以上の企業及び店舗を対象とし、計15回以上の研修を実施すること」とされていたところ、各都市で複数の企業に事前にアプローチしたが、青果物の仕入れが少ないことや価格高騰等の理由から、本取組実施の理解を得ることができなかった。このため、農林水産省担当職員と協議を行い、「全国の主要都市複数社」ではなく、「全国の主要な都市、地区」で、なるべく多くの企業に対する研修を行うことに変更した。なお、研修の回数は計16回となり、仕様書どおり実施できた。

#### ※サポート活動(保健所説明)について

店舗で実際にPOP表示を始めるにあたり、事前に、POP表示マニュアルをもとに作成・掲示したPOPであることについて、管轄する保健所に対して説明を行うことで、研修を行った小売店が継続的にPOP表示を行いやすい環境づくりをサポートする目的で行った。

### 3 研修内容

POP表示マニュアルをもとに、日本における野菜・果物の摂取量についての現状、事業の背景等を含め、法律に基づく表示にあたっての規制の内容や、POPへの記載、表示する際の注意点等を説明し、質疑応答等を通じて理解を深めた。さらに、幹部向け研修では、実際に対象とする品目の検討や取組に際しての実践的な指導を行い、店舗向け研修では、検討したPOPの実際の掲示にあたっての注意点等の説明や助言を行った。

### 4 消費者向けのアンケート

POP表示の取組の効果を把握するため、POP表示を実施した実店舗において、消費者向けにアンケートを行った(詳細は第4 消費者向けアンケート実施結果に記載)。

# 第3 研修受講企業別のPOP表示の取組内容 (POP表示実施：4社7店舗)

## 1 東京むさし農業協同組合

実施店舗数	4店舗
実施店舗名	小平ファーマーズマーケット、武蔵野新鮮館、小金井ファーマーズマーケット、ボン・マルシェ・プラス
POP表示品目(数)	16品目(トマト、かぼちゃ、じゃがいも、にんじん、ミカン、葉物類、だいこん、ねぎ、白菜、さつまいも、いちご、リンゴ、里芋、ピーマン、きゅうり、玉ねぎ)のPOPを掲示した(POP表示数は計64点)
POP	

<p>POP</p>				
<p>POP表示・店舗の様子</p>	 <p>武蔵野新鮮館</p>	 <p>小平ファーマーズマーケット</p>	 <p>小金井ファーマーズマーケット</p>	 <p>ボン・マルシェ・プラス</p>

## 2 コープこうべ

実施店舗数	1 店舗	
実施店舗名	シーア店	
POP表示品目 (数)	5 品目 (トマト、葉物類、ニンジン、きのこ類、梨) のPOPを掲示した (POP表示数は計 5 点)	
POP	 <p>真っ赤に熟したトマトは、リコペン、β-カロテンを多く含んでいます。リコペンは、トマトの赤みをつくっている色素で、抗酸化作用があり、活性酸素の働きをおさえると言われ、血圧やLDLコレステロールの数値を整える機能があると報告されています。β-カロテンとは、体内でビタミンAに変化します。※油と一緒に摂取すると吸収率が高まります。</p> <p>葉物野菜類 (ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、もやし、油揚げ) は、葉酸、ビタミンCが多く含まれています。葉酸とはビタミンの一種で、赤血球の形成を助ける栄養素です。神経では神経の正常な発育に寄与する栄養素です。ビタミンCは水溶性のビタミンで、皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、抗酸化作用を持つ栄養素です。</p> <p>ニンジンはβ-カロテンが豊富な緑黄色野菜の一つです。β-カロテンは、体内でビタミンAに変化します。ビタミンAは、夜間の視力の維持を助け、皮膚や粘膜の健康維持を助けると共に免疫システムなど多くの器官の適切な発達、機能に必要な栄養素です。β-カロテンは抗酸化作用があり、活性酸素の働きをおさえると言われています。</p> <p>きのこ類 (しいたけ、しめじ、えのき、まいたけ、エリンギ、舞茸) は、ナイアシン、ビタミンDが豊富に含まれています。ナイアシンは、皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。また、体内における脂質および糖分の機能を保ち、機能を正常な状態に維持するために必要とされます。ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。生しいたけを30分ほど日光に当てると、ビタミンDが増えたとされています。</p> <p>梨には、果糖、カリウム、銅、アスパラギン酸、リンゴ酸、クエン酸、ソルビトールなどを含んでいます。ソルビトールは糖アルコールの一種で、梨の清涼感のある甘さを演出しています。</p> <p>食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。新鮮な野菜を食べて自分の健康状態を把握しましょう。いんげん野菜を1日30g食べましょう。(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進委員会 発表</p>	
POP表示・店舗の様子		

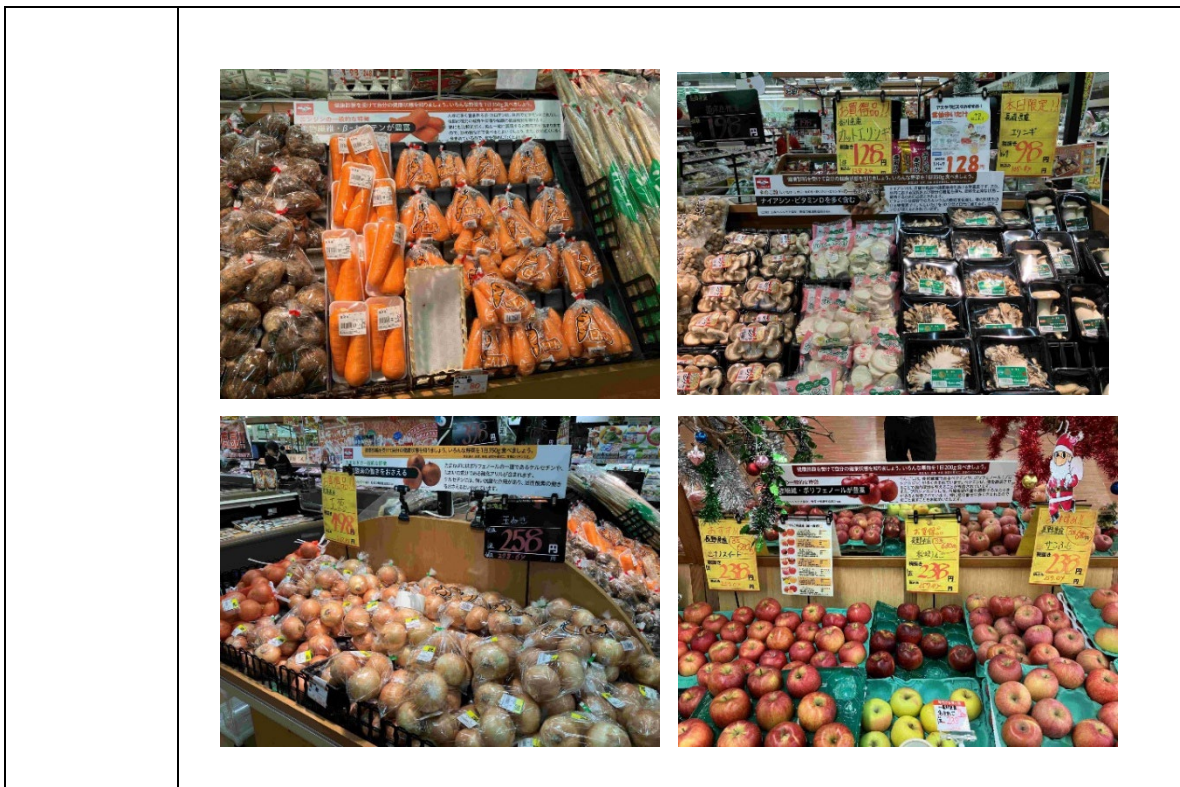


### 3 パンナ農援隊

実施店舗数	1 店舗
実施店舗名	農援隊マルシェ
POP表示品目 (数)	4 品目 (玉ねぎ、トマト、根菜類、柑橘類) のPOPを掲示した (POP表示数は計 4 点)
POP	 <p>The POP section contains four educational cards:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>玉ねぎ (Onion):</b> Explains that onions contain quercetin (ケルセチン), a polyphenol that gives them their yellow color and has antioxidant properties.</li> <li><b>トマト (Tomato):</b> Explains that ripe tomatoes contain lycopene (リコペン) and beta-carotene (β-カロテン), which have antioxidant effects and can help lower blood pressure and cholesterol.</li> <li><b>根菜類 (Root vegetables):</b> Explains that root vegetables like potatoes and sweet potatoes contain vitamins C (ビタミンC) and B6 (ビタミンB6), which are important for skin and immune health.</li> <li><b>柑橘類 (Citrus fruits):</b> Explains that citrus fruits contain vitamin C (ビタミンC) and folic acid (葉酸), which are important for blood formation and fetal development.</li> </ul>
POP表示・店舗の様子	 <p>The POP display section shows two photographs of the store's produce display:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The left photo shows a wooden display stand with various fresh vegetables like onions, carrots, and leafy greens, with informational POP cards hanging on the wall behind them.</li> <li>The right photo shows a display of citrus fruits (lemons and oranges) in wooden crates, also with informational POP cards on the wall.</li> </ul>

## 4 アスタラビスタ

実施店舗数	1 店舗
実施店舗名	大木店
POP表示品目 (数)	6 品目 (トマト、バナナ、ニンジン、きのこ類、玉ねぎ、りんご) の POP を掲示した (POP 表示数は計 6 点)
POP	 <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな野菜を1日350g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>トマトの一般的な特徴</b> <b>GABA・リコペン・β-カロテンが豊富</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p> <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな果物を1日200g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>バナナの一般的な特徴</b> <b>カリウムやマグネシウム、ビタミンB6、GABAが豊富</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p> <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな野菜を1日350g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>ニンジンの一般的な特徴</b> <b>食物繊維・β-カロテンが豊富</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p> <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな野菜を1日350g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>きのこ類 (しいたけ・しめじ・えのき・まいたけ・エリンギ) の一般的な特徴</b> <b>ナイアシン・ビタミンDを多く含む</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p> <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな野菜を1日350g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>たまねぎの一般的な特徴</b> <b>活性酸素の働きをおさえる</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p> <p>健康診断を受けて自分の健康状態を知りましょう。いろんな果物を1日200g食べましょう。 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。</p> <p><b>りんごの一般的な特徴</b> <b>食物繊維・ポリフェノールが豊富</b></p> <p>(公財) 日本ヘルスケア協会 野菜で健康推進部会</p>
POP表示・店舗の様子	



## 5 一般財団法人三宅医学研究所

実施店舗数	1 店舗
実施店舗名	LOHAS CLUB
POP表示品目（数）	5品目（葉物類、ねぎ、白菜、トマト、人参）のPOP表示を行う予定目（令和7年4月上旬）

## 6（参考） 研修受講後POP表示に至らなかった理由

以下の店舗では、研修を実施したが、POP表示の実施に至らなかった。

店舗名	POP表示に至らなかった理由
北雄ラッキー	野菜の価格が高騰して物が集まりにくい状況だったため
JA福島中央会	店舗向け研修の日程調整ができなかったため
イシハラフード	店舗向け研修の日程調整ができなかったため
キヌヤ	設置できるスペースが確保できなかったため

## 第4 消費者向けアンケート実施結果

### 1 アンケート内容

- ・回答者属性（性別、年齢）
- ・「野菜・果物の機能性成分」の関心度
- ・「野菜・果物の機能性成分」を意識した購入経験
- ・「栄養素が多い野菜・果物」の購入意欲
- ・野菜・果物のPOP表示による購入意欲の変化
- ・本店舗での「野菜・果物の成分やはたらきの表示」のわかりやすさとその理由
- ・野菜・果物の「体に良いはたらきがある」ことに対する反応
- ・野菜・果物を選ぶ際の価格以外の知りたい情報
- ・「野菜の目標摂取量/日は350g」、「果物の目標摂取量/日は200g」の認知度

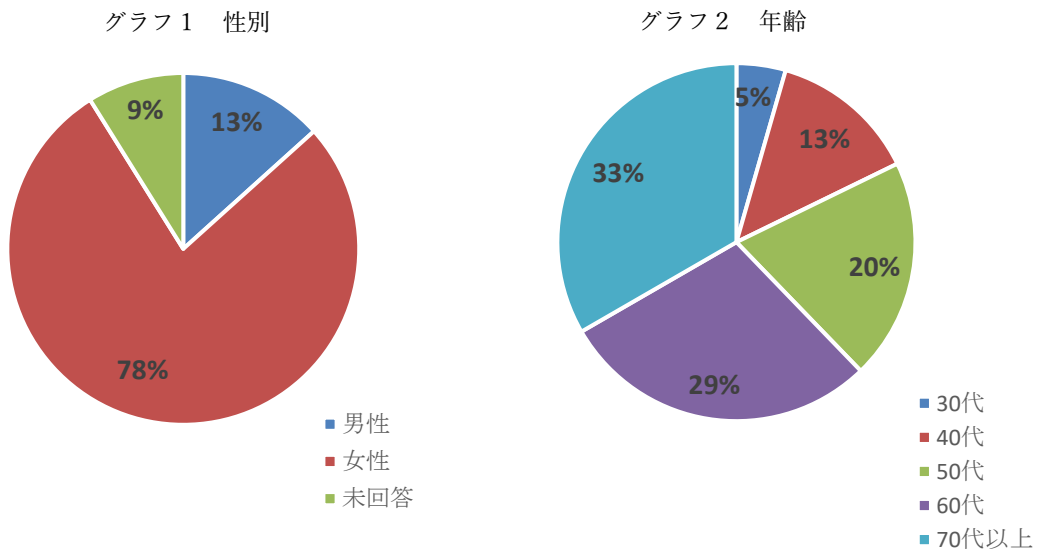
### 2 アンケート実施店舗

東京むさし農業協同組合の2店舗

- ・小金井ファーマーズマーケット（2025年1月31日実施）
- ・武蔵野新鮮館（2025年2月5日実施）

### 3 アンケート回答状況

アンケートの回答者数は、小金井ファーマーズマーケットで22名、武蔵野新鮮館で23名、計45名であった。回答者の性別・年齢をグラフ1、グラフ2に示す。

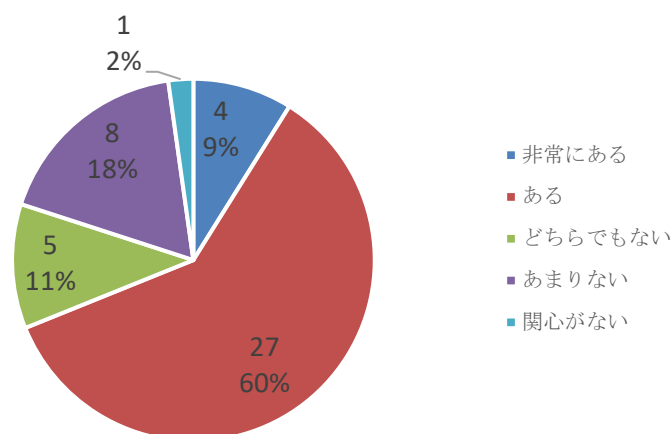


## 5 アンケート結果

### ① 「野菜・果物の機能性成分」の関心度

- ・「非常にある」「ある」と回答したのは31名で69%であり、回答者の過半数は野菜・果物の機能性成分に関心があった。
- ・「あまりない」が8名（18%）、「どちらでもない」が5名（11%）、「関心がない」が1名（2%）であった。

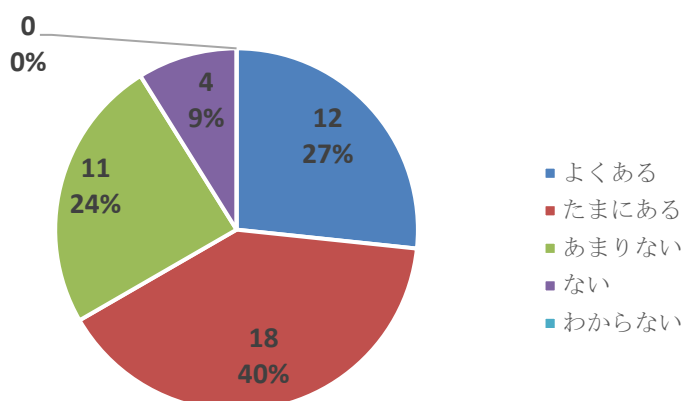
グラフ3 設問1「「野菜・果物の機能性成分」に関心はありますか。」



### ② 「野菜・果物の機能性成分」を意識した購入経験

- ・「よくある」「たまにある」と回答したのは30名で67%であり、設問1で野菜・果物の機能性成分に関心があると答えた割合とほとんど同じであった。
- ・「あまりない」11名（24%）、「ない」4名（9%）であった。

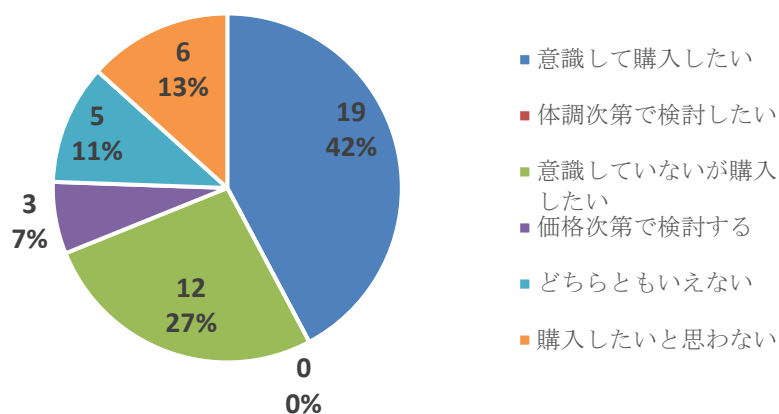
グラフ4 設問2「「野菜・果物の機能性成分」を意識して購入した経験はありますか。」



### ③ 「栄養素が多い野菜・果物」の購入意欲

- ・「意識して購入したい」は19名で42%であった。
- ・「意識していないが購入したい」は12名で27%であった。
- ・「購入したいと思わない」は6名（13%）、「どちらともいえない」は5名（11%）、「価格次第で検討する」は3名（7%）であった。

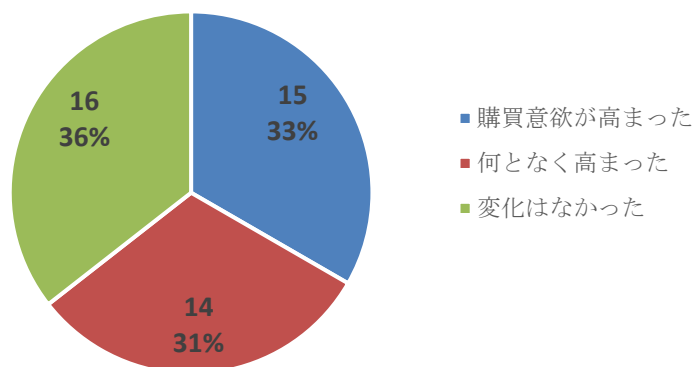
グラフ5 設問3「「栄養素が多い野菜・果物」を購入したいと思いますか。」



### ④ 野菜・果物のPOP表示による購入意欲の変化

- ・「購買意欲が高まった」が15名（33%）、「何となく高まった」が14名（31%）であった。
- ・「変化はなかった」が16名（36%）であった。

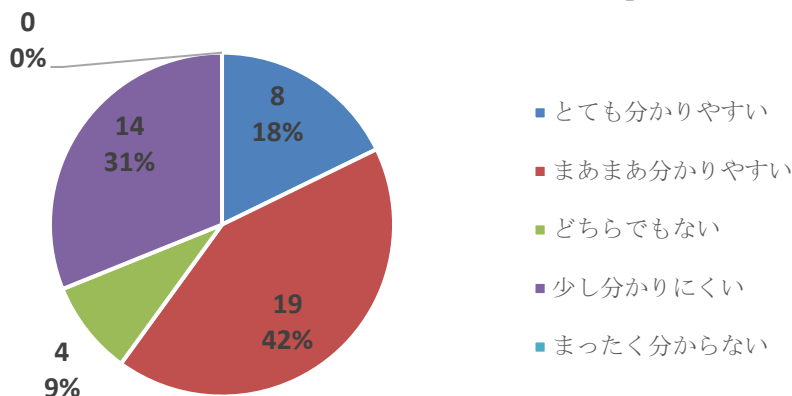
グラフ6 設問4「野菜・果物のPOP表示を見て、購入意欲は変化しましたか。」



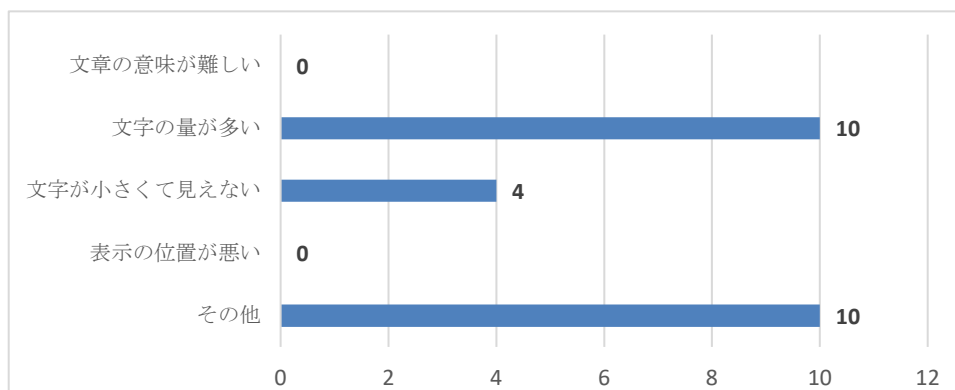
### ⑤ 本店舗での「野菜・果物の成分やはたらきの表示」のわかりやすさとその理由

- ・「とても分かりやすい」は8名（18%）、「まあまあ分かりやすい」は19名（42%）であった。
- ・「少し分かりにくい」は14名（31%）、「どちらでもない」は4名（9%）であった。
- ・「少し分かりにくい」と回答した14名からは、「文字の量が多い」、「文字が小さくて見えない」のほか、「手書きのイラストの方が目を引く」「（野菜の色と）反対色にした方が目立つ」等の意見が挙げられた。

グラフ7 設問5-1「本店舗での「野菜・果物の成分やはたらきの表示」はわかりやすかったですか。」



グラフ8 設問5-2「「少し分かりにくい」「まったく分からない」を選んだ人へ）分かりにくかった原因を教えてください（複数回答可）。」



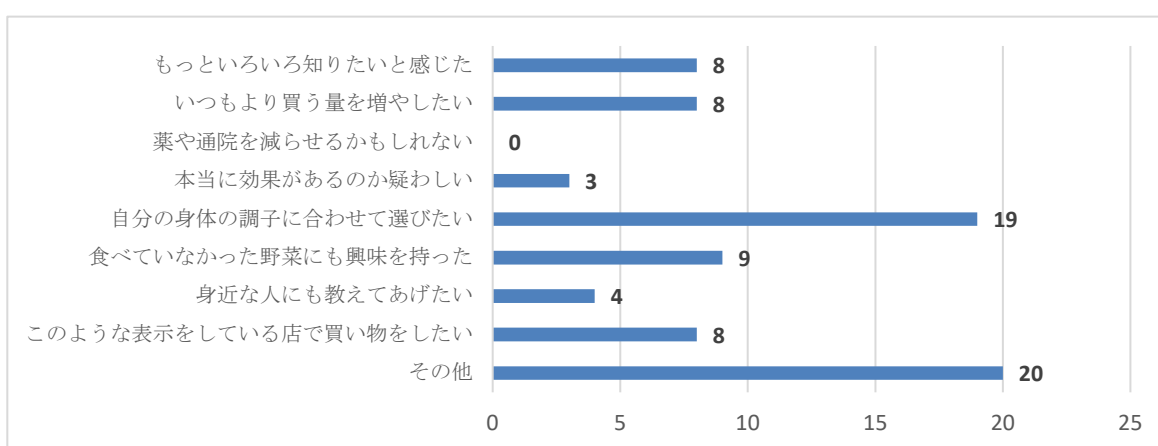
#### 設問5-2 「その他」自由記述

- 「含有量も知りたい。含有量を品目ごとに比べたい」
- 「手書きのイラストの方が目を引く」
- 「広告のように、短くわかりやすいものが良い」
- 「値札と別になっていると目に入らない」
- 「チラシにしてお家に持って帰ったら見るかも」
- 「（野菜の色と）反対色にした方が目立つ」
- 「ポイント部分（どう効くのか）だけでもっと文字を大きくしてほしい」
- 「文字数が多い。効果だけ知りたい」
- 「視界に入っても気にしない」

## ⑥ 野菜・果物の「体に良いはたらきがある」ことに対する反応（複数回答）

- ・「自分の身体の調子に合わせて選びたい」が19件で最も多く、「食べていなかった野菜にも興味を持った」（9件）、「もっといろいろ知りたいと感じた」（8件）、「いつもより買う量を増やしたい」（8件）、「このような表示をしている店で買い物をしたい」（8件）がほぼ同数であった。
- ・その他の自由回答では、「自身の子供や孫に食べさせたい」旨の回答が多かった。

グラフ9 設問6「野菜・果物が「体に良いはたらきがある」と知って、どう思いましたか」（複数回答可）



### 設問6 「その他」自由記述

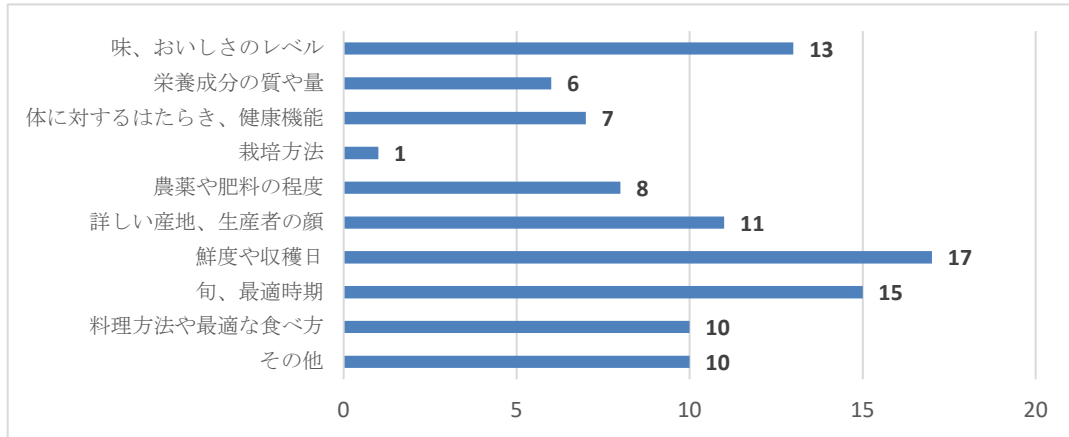
- 「小さい孫がいるので栄養素の高いものを選んで買ってあげたい」
- 「娘に野菜を食べてもらうようにいつも工夫している。野菜は体に良いよっていつも言っているし、知らない情報だったら伝えてあげたい。」
- 「2歳の子供がいるので、出来るだけ色々な色の野菜を使うようにしています。彩りの良い料理は何となくいろんな栄養素が摂れるじゃないかなと思います」
- 「売り場にこういう情報がある方がいいと思う」
- 「いつも家で知りたい栄養素を調べてから買い物している」
- 「普段野菜しか食べないからより良い（栄養価高い）野菜を買いたい」
- 「野菜摂取量のイベントで野菜の良さを知っていたので、それから色々と調べて意識するようになった」
- 「直売所に来ている皆さんはそもそも意識が高いので、この内容なら大体わかっていると思う。もう一歩先の食べ合わせとか、レシピにした方が良い。」
- 「最近インフルエンザ等も流行っているので、気を付けて野菜をとるようにしたい」
- 「なにをどのくらい食べたら効くの？」
- 「気にしていない。価格の方が大事」
- 「調理の仕方によっても変わるのか疑問」
- 「子どもが食べられる味かどうかの方が気になる」
- 「年上の方は大体知ってるから、若者にもっと知ってもらいたい」
- 「特に何も思わない、あんまり興味ない」



## ⑦ 野菜・果物を選ぶ際の価格以外の「知りたい情報」

- ・「鮮度や収穫日」が17件でもっとも多く、次いで「旬、最適時期」（15件）、「味、おいしさのレベル」（13件）が選ばれた。
- ・その他の自由回答では、食べ合わせや産地に関する情報等が挙げられた。

グラフ10 設問7「野菜・果物を選ぶ際に価格以外で「知りたい情報」は何ですか」（複数回答可）



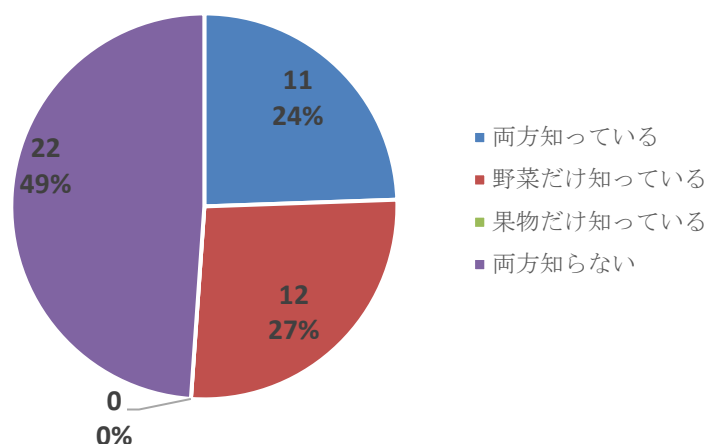
### 設問7 「その他」自由記述

- 「食べ合わせ（野菜は加熱せず生で食べているけど）」
- 「いろんな食材を使いたいののでどう組み合わせるか」
- 「色々な地方の名産がわかりやすく陳列されていると良い」
- 「なるべく地場の野菜を買う」
- 「できるだけ農薬を使っていないものを選びたい」
- 「見た目ですらって鮮度と美味しさを判断するか」
- 「食感」
- 「ジューシーさ」
- 「特にない」

## ⑧「野菜の目標摂取量/日は350g」、「果物の目標摂取量/日は200g」の認知度

- ・「両方知っている」は11名（24%）、「野菜だけ知っている」は12名（27%）「果物だけ知っている」は0名（0%）、「両方知らない」は22名（49%）であった。

グラフ11 設問8「「野菜の目標摂取量/日は350g」、「果物の目標摂取量/日は200g」であることをご存知ですか」



## 6 総括

本アンケート結果から、69%が野菜・果物の機能性成分に関心があり、研修を踏まえ掲示したPOPに対して、64%がPOP表示によって購買意欲が高まったと回答した（グラフ6）。「店頭でこのような情報が見られるのは良いことだと思う」、「子供や家族のために栄養のある野菜を買ってあげたいと思った」という声があり、POP表示による情報提供を行うことで、消費者が正しい知識を身につけることができ、それに伴い、野菜・果物の摂取量の増加が期待できる。

POPの分かりやすさについては、「とても分かりやすい」「まあまあ分かりやすい」と答えた者が過半数を超えていたが、文章量が多いという意見も散見された。掲示の内容については、様々な法律に配慮し、正しく情報を伝えるという観点からある程度の文章量が必要であるが、掲示方法等にも工夫する必要がある（グラフ7、グラフ8）。

さらに、「野菜の目標摂取量/日は350g」、「果物の目標摂取量/日は200g」の認知度については、回答者の半数近い49%が「両方知らない」と回答した（グラフ11）。今回のアンケート対象者は限られたものであったが、野菜・果物に関心の高い消費者が多いと想定される農協直売所でのアンケートにも関わらず、半数近い者が目標摂取量を知らないという現状において、目標摂取量の認知を向上させるための対策の強化の必要性が示唆された。

## 第5 事業実施評価のまとめ

本事業は、「POP表示マニュアル」の普及に向け、全国の主要な都市等において、POP表示を行う小売店に対する表示規則やアピール手法等に関する研修を行い、もって店舗での適切なPOP表示と消費者の理解促進を図ることを目的に実施した。

本事業では、8都市・1地区の9社30店舗において研修を行い、計95人が参加し、研修回数は延べ16回となった。研修会を踏まえ各店舗で実施したPOP表示は計84点となった（予定を含む）。

研修の参加者からは、「研修でPOP表示の方法について学ぶことができたため、自信をもって野菜・果物の効果を消費者に伝えることができる」、「今までになかった手法で消費者に訴求できそう」等の感想があり、これまで実施が困難だった青果物の栄養・機能性の情報発信ができるようになったことで、従前とは異なった手法で、青果物の消費拡大にアプローチすることができ、今後の取組に向けての意欲が感じられた。一方、「野菜・果物の栄養・機能性には興味があるものの、同一品目で複数商品を用意することが難しい」との感想があり、規模が小さい店舗においてPOP表示を普及するためには仕入れ面の課題があることが示唆された。それでも栄養・機能性のPOPを表示したい場合は、複数品目をまとめて表示する（例えば薬物類、きのこ類）等の工夫が必要である。

消費者アンケートの結果を見ると、POP表示によって購買意欲が増すとの意見が半数以上であり、野菜・果物の栄養・機能性に対する消費者の理解促進が、野菜・果物の消費拡大につながっていくものと思われる。一方、アンケートでは、POP表示のわかりにくさを指摘する声もあったことを踏まえ、栄養・機能性のPOP表示は、様々な法律に配慮し、正しく情報を伝えるという観点からある程度の文章量が必要であるものの、表示内容や表示場所等については更なる改善の必要があると考える。

(添付資料) アンケート票 (様式)

野菜・果物の機能性成分のPOP表示 アンケートシート  
当てはまるものに☑をお願いします

1. 「野菜・果物の機能性成分」に関心はありますか？  
 非常にある    ある    どちらでもない    あまり無い    感心が無い
  
2. 「野菜・果物の機能性成分」を意識して購入した経験はありますか？  
 よくある    たまにある    あまりない    ない    わからない
  
3. 「栄養素が多い野菜・果物」を購入したいと思いますか？  
 意識して購入したい    体調次第で検討したい    意識していないが購入したい  
 価格次第で検討する    どちらともいえない    購入したいと思わない
  
4. 野菜・果物のPOP表示を見て、購入意欲は変化しましたか？  
 購買意欲が高まった    何となく高まった    変化はなかった
  
5. 本店舗での「野菜・果物の成分やはたらきの表示」は分かりやすかったですか？  
 とても分かりやすい    まあまあ分かりやすい    どちらでもない  
 少し分かりにくい    まったく分からない

↓

分かりにくかった原因を教えてください。

- 文章の意味が難しい    文字の量が多い    文字が小さくて見えない  
 表示の位置が悪い    その他 (自由記入 )

6. 野菜・果物が「体に良いはたらきがある」と知って、どう思いましたか？（複数回答可）

- もっといろいろ知りたいと感じた       自分の体の調子に合わせて選びたい  
 いつもより買う量を増やしたい       食べていなかった野菜にも興味を持った  
 薬や通院を減らせるかもしれない       身近な人にも教えてあげたい  
 本当に効果があるのか疑わしい       このような表示している店舗で買い物をしたい  
 その他（自由記入 \_\_\_\_\_）

7. 野菜・果物を選ぶ際に価格以外で「知りたい情報」は何ですか？（複数回答可）

- 味、おいしさのレベル       栄養成分の質や量       体に対するはたらき、健康機能  
 栽培方法       農薬や肥料の程度       詳しい産地・生産者の顔  
 鮮度や収穫日       旬、最適時期       料理方法や最適な食べ方  
 その他（自由記入 \_\_\_\_\_）

8. 「野菜の目標摂取量/日は350g」、「果物の目標摂取量/日は200g」であることはご存知ですか？

- 両方知っている    野菜だけ知っている    果物だけ知っている    両方知らない

-----その他-----

性別 / 男性    女性    回答しない

年代 / 10代以下   20代   30代   40代   50代   60代   70代以上

ご回答ありがとうございました。